

意識を変える 普段から万全の対策を

○避難所や避難経路の確認

自分の家から最寄りの避難所と避難経路を家族で確認しておきましょう。市内の指定避難所は市ホームページやハザードマップで確認できます。

○非常持出品の準備

すぐに避難できるよう非常持出品を準備しましょう。非常持出品は確実に使用できるよう定期的な点検を心がけましょう。

○家の外の備えは十分に

屋根、堀、壁などの点検や補強も台風が来る前に行っておきましょう。また、強風で倒れそうなものや壊れそうなものは固定や補強をしておきましょう。側溝や排水溝の掃除をし、水はけをよくしておくことも必要です。

状況を把握する 気象情報に注意！

台風は地震のような突発的な災害とは違い、事前にさまざまな情報を収集することで、被害を防ぐことができます。テレビやラジオ、インターネットを活用し、台風の勢力や進路、雨量などの気象情報を収集しましょう。気象情報に注意しながら、避難に備えましょう。

インターネットで確認するには

気象庁	検索
福岡管区気象台	検索
福岡県防災	検索
九州防災ポータルサイト	検索

データ放送でも防災情報を確認できます

地上デジタル放送のデータ放送で最新の防災情報を確認できます。



- ①NHK(総合)福岡局を選局する
- ↓
- ②テレビリモコンの「d」ボタンを押す
- ↓
- ③「台風・大雨雷突風」を選び、決定ボタンを押す

最悪を想定する 避難勧告などが発令されたら

市は、被害が発生するおそれがある場合、段階に応じて避難情報を発令します。次の3段階で発令しますが、「勧告」「指示」の違いにとらわれず、危険を感じた場合は直ちに避難しましょう。

緊急の度合い

	発令時の状況	必要な行動
避難準備 情報	避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階で、人的被害の発生する可能性が高まった状況	災害時要援護者など、特に避難行動に時間を要する人は、避難行動を開始してください
避難勧告	通常の避難行動ができる人が避難行動を開始する段階で、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	通常の避難行動ができる人は、避難行動を開始してください
避難指示	前兆現象の発生や切迫した状況から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された場合または発生した場合	まだ避難していない人は、ただちに避難行動に移るとともに、その時間がない時は生命を守る最低限の行動をとってください

台風災害に備える

9月は、台風による被害が最も発生しやすいシーズンです。また、洪水や土砂災害などの二次災害が心配されます。台風に関する情報は、事前にテレビやラジオなどから得ることができます。

台風が近づいていても、あわてず対処できるよう、日ごろからの備えを心がけましょう。

●問合せ先 協働推進課防災安全係

☎72・2111 内線253

今すぐできる台風災害への備え

ハザードマップを活用

市民の皆さんがすばやく安全に避難できるように、被害が想定される区域と被害の程度や避難所などの情報を地図上に記載したものが「ハザードマップ」です。

ハザードマップには、浸水予想以外にも、避難所一覧や避難時の心得などが掲載されています。

家族で確認しましょう

- ☐ 自宅周辺の危険箇所
- ☐ 避難所
- ☐ 避難経路
- ☐ 連絡のとり方

●配布場所 協働推進課(市役所本館2階)
※市ホームページからもダウンロードできます



防災メールに登録

防災情報は、テレビやラジオなどでもお知らせしますが、中でも、携帯電話のメール機能は、情報を入りやすい有効な手段です。次の方法で配信しますので、ぜひご利用ください。

●防災メールまもるくん

気象情報や避難情報などのほか、防犯情報を配信します。

携帯電話からmamoru@bousaimobile.pref.fu
kuoka.lg.jpへアクセスし、登録してください。

●緊急速報メール(エリアメール)

小郡市内にあるドコモ、ソフトバンク、auの携帯電話に、避難勧告などの緊急性の高い災害関係情報を一斉送信するシステムです。登録は不要ですが、設定は各携帯電話会社により異なります。詳しくは各携帯電話会社にお問い合わせください。

QRコード



非常持出品・備蓄品の準備

災害時に避難する際には、非常持出品を持って避難することが重要です。それぞれの家族の状況に合わせ、チェックリストを活用して準備しましょう。また、いつでも確実に使用できるよう、定期的に点検することも大切です。

さらに、電気やガスなどのライフラインの切断も想定されます。ライフラインの切断を想定し、家庭内で7日分以上の食糧、飲料水などを備蓄しておきましょう。



《非常持出品リスト》

非常持出品は、家庭の状況にあわせて必要なものをつけ加え、非常持出袋に詰め、入口か窓のそばに保管しておきましょう。

●貴重品

- ・現金(小銭も)、預貯金通帳、印鑑、免許証コピー、権利証書、健康保険証コピー

●食品

- ・飲料水(1人1日3リットルを目安に)
- ・非常食、缶詰、レトルト食品

●生活用品

- ・携帯ラジオ(予備電池も)
- ・携帯電話の予備バッテリー
- ・懐中電灯(できれば家族1人に1つ)
- ・ヘルメット、軍手または手袋、防塵マスク
- ・救急医療品(持病の薬、ばんそうこう、包帯、消毒液、体温計、胃腸薬、鎮痛剤、かぜ薬、解熱剤、ビタミン剤、ハサミなど)

- ・多機能ナイフ
- ・衣類、下着、防寒着、靴下
- ・割り箸、紙皿、紙コップ
- ・缶切り、栓抜き
- ・ライター、ろうそく
- ・歯磨きセット

